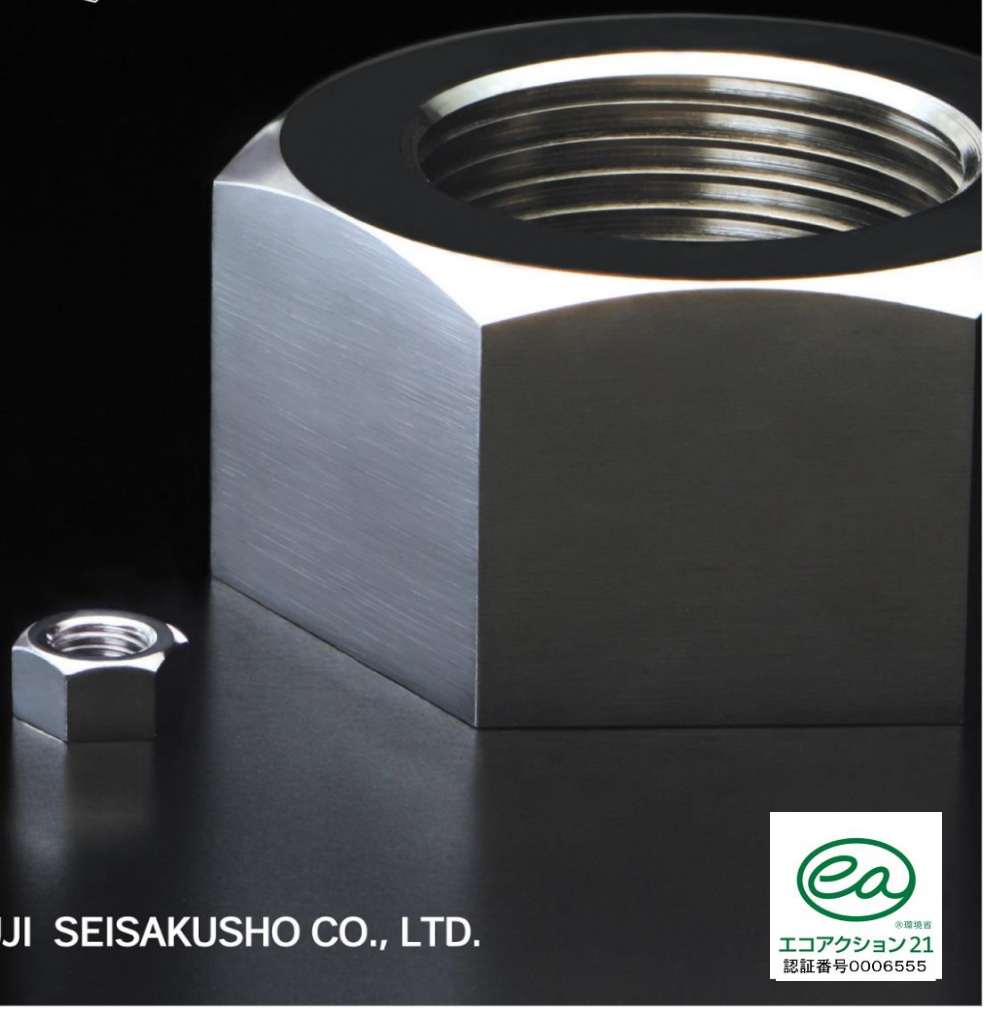
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社 富士製作所

2023年度 環境経営レポート

対象期間：2022年10月～2023年9月

作成日： 2023年12月22日 更新日：2024年2月6日



FUJI SEISAKUSHO CO., LTD.

エコアクション21
認証番号0006555

株式会社　富士製作所
経営理念

会社の発展と社員の幸せを目指します

1 日 は 24 時 間

1 健康のために1日8時間眠ります
　食事と運動に気を付け心身を健やかにします

2 仕事に責任を持って1日8時間働きます
　高い品質と納期でお客様の期待に応えます

3 家庭円満を心がけ1日8時間遊びます
　生きがいを見つけ豊かな生活を目指します

品質方針

お客様のご要望に応え、大きなものから小さなものまで

少量多品種を取り揃え、“良いものを早く、安く”

お届けすることを最優先します。

株式会社　富士製作所
環 境 経 営 方 針

<環境理念>

私たちは、ISO 9001をベースに、徹底した5Sを推進することで、

深刻化する地球温暖化を防止することを目的とし、

ナット製造活動において、環境負荷の低減を図る為に

全社一丸となって積極的に環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境経営目標・環境計画を定め、継続的な改善に努めます。

①二酸化炭素排出量の削減
・電力
・燃料　自動車　リフト

②廃棄物の削減及び再資源化の推進
・一般廃棄物
・産業廃棄物

③使用水量の削減

④環境に配慮した製品の製造
・品質向上と生産効率の改善
・有害物質について考慮する

⑤5S活動の普及啓発
・インターンシップ制度　工場見学の受け入れ

2. 環境関連法規制や、条例等と共に当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを、環境経営レポートにて公表します。

制定日 ： 2009年11月10日
改定日 ： 2020年1月22日

取締役社長　　木村　文雄

2022年10月1日現在

□登録事業所の概要

（1）名称及び代表者名

株式会社　富士製作所
取締役社長　木村　文雄

（2）所在地

本　　社　　大阪府東大阪市菱江6丁目4番28号

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者　　下浦輝明　　TEL：072-964-2270
担当者　　矢野有希　　TEL：072-964-2270

（4）事業内容

切削ナット製造

（5）事業の規模

主要製品生産量　　85トン

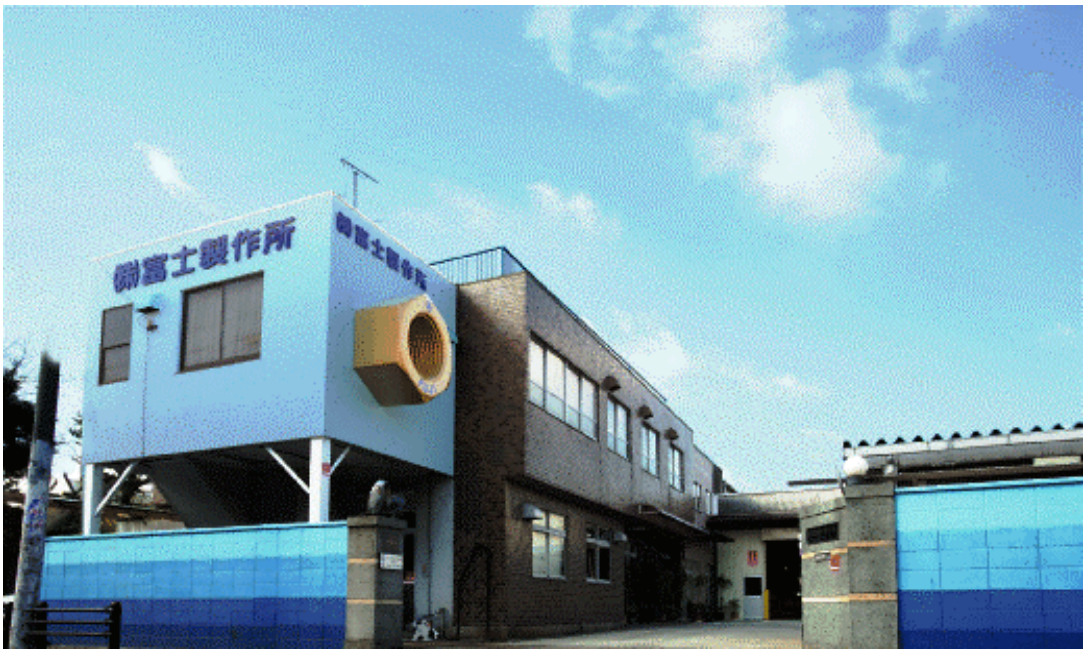
	本　社
従業員数	50　名
述べ床面積	300　坪

（6）事業年度　　10月～9月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　　株式会社　富士製作所
全社認証取得範囲

活動：　　切削ナット製造



□製品の紹介

FUJIオリジナル開発製品　強度や耐久性、脱落防止等機能的な要望に応えた開発製品です。

ゆるみ止めナット

■ フジベアリングロックナット
● 軸受用ゆるみ止めナット

■ フジスピードロックナット®
● 作業時間を大幅に短縮

■ フジロックナット®
PAT.No.4418899

■ フジダブルロックナット®

■フジトリプルロックナット®

● 偏心による強力なゆるみ防止効果を発揮

■フジクイックナット®

●すばやく確実に止まる強いナット

■フジクイックナットMタイプ

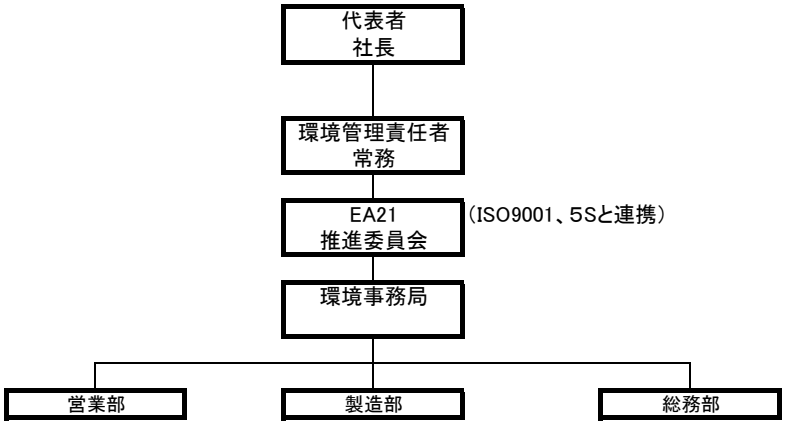
●どこからでも中間位置へ簡単に取付け取外しできる強いナット

上下一体型の特殊形状ナット、“フジクイックナット”は締め付けが困難な箇所や、何度も付け替えるときの早締め作業に最適です。（平成28年12月特許取得）

貴社ホームページにて東大阪ものづくり工場見学ARツアーを体感することが出来ます。
（会社動画案内）
http://www.fujiseisakusho.com

□環境経営システム

作成者: 矢野
更新日: 2020年1月22日



環境経営システム　役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
社長	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を、社長、代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
EA21推進委員会	・毎月、EA21会議にて活動の進行状況を確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長(各リーダー)	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項　目	単　位	2009年 (EA21活動開始)	#REF!	#REF!
二酸化炭素排出量(対象:エネルギー総量)	kg-CO_2	141,449	105,998	99,056
廃棄物排出量(合計)	kg	8,028	7,518	5,733
一般廃棄物量排出量	kg	7,488	3,936	4,473
産業廃棄物排出量	kg	540	3,582	1,260
総排水量	㎥	1,244	#REF!	#REF!

電力CO_2換算値0.318kg-CO2/kWh

＊　一般廃棄物は、焼却処分量を対象としています。

＊　産業廃棄物は、マニフェスト処理の廃棄物を対象としています。

□環境経営目標及びその実績

項　目 ＼ 年　度		基準値	2023年		2024年	2025年
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の削減	kWh	290,824	285,008	235,658	282099	279191
	基準年度比	2014年	98%	81%	97%	96%
	kg-CO_2	143,376	90,632	74,939	89,708	88,783
	二酸化炭素排出係数	0.493	0.318		0.318	0.318
燃料　自動車　リフトの削減	kg-CO_2 基準年度比	26,759 2009年	24,886 93%	19,610 73%	24,619 92%	24,351 91%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO_2	170,135	115,518 68%	94,549 56%	114,326 67%	113,134 66%
一般廃棄物の削減	kg	8,330 2010年	5,498 66%	keiei #VALUE!	5,415 65%	5,331 64%
産業廃棄物(廃油)の管理 (実績のみ把握)	kg	－	－	1,260	－	－
使用水量の削減	㎥	1,244 2014年	1,070 86%	759 61%	1,057 85%	1,045 84%
5S活動の普及啓発	受入者数	－	－	333名	－	－
環境に配慮した製品製造	社内不具合件数 %	70 2011年	43 61%	35 50%	42 60%	41 59%

＊その他、社会貢献・地域貢献としてインターンシップ制度の実施や、工場見学の受け入れを行っています。

＊電力基準年の数値は、2014年の実績値に変更しています。

＊一般廃棄物基準年度の数値は、2010年の実績値に変更しています。

＊産業廃棄物の目標は、2012年より削減から管理に変更しています。

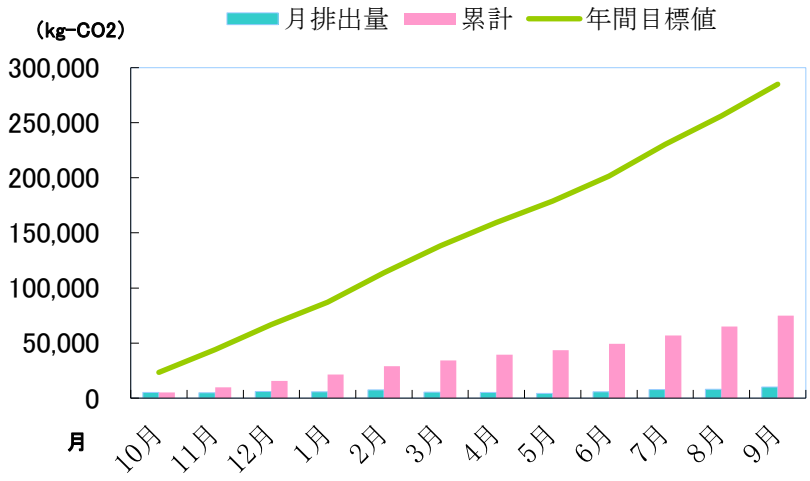
＊目標に灯油、都市ガスは含みません。

＊化学物質について脱脂剤として石油系溶剤を使用していますが、
量が少ないこともあり適正管理としています。
また、廃棄時は特管廃油としてマニフェスト管理します。

＊5S活動の普及啓発の受入者数は、工場見学者と
インターンシップ生受入数の合計とする。

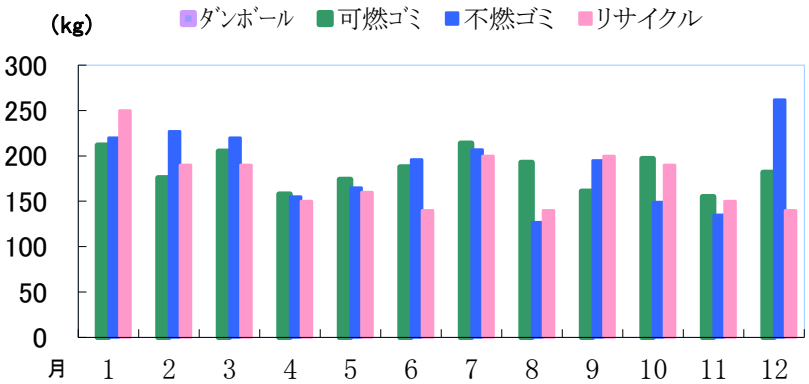
電力によるCO2排出量推移kg-CO2

	月排出量	累計	月目標
10月	5,035	5,035	23,361
11月	4,801	9,836	43,957
12月	5,893	15,728	66,874
1月	5,643	21,372	87,210
2月	7,612	28,983	113,847
3月	5,320	34,303	138,293
4月	5,015	39,319	159,559
5月	4,202	43,521	178,881
6月	5,660	49,181	201,639
7月	7,794	56,975	230,225
8月	7,998	64,974	256,124
9月	9,965	74,939	285,008



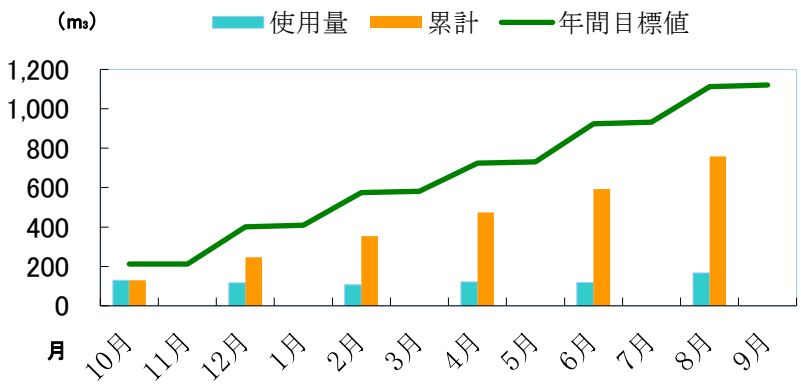
一般廃棄物分別の推移kg

月	ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ	可燃ｺﾞﾐ	不燃ゴミ	リサイクル
10月	0	212	220	250
11月	0	176	227	190
12月	0	205	220	190
1月	0	158	155	150
2月	0	174	165	160
3月	0	188	196	140
4月	0	214	207	200
5月	0	193	127	140
6月	0	161	195	200
7月	0	197	149	190
8月	0	155	135	150
9月	0	182	262	140
合計	0	2,215	2,258	2,100



使用水量推移

	使用量	累計	目標
10月	130	130	202
11月			
12月	116	246	188
1月			
2月	107	353	165
3月			
4月	121	474	142
5月			
6月	118	592	193
7月			
8月	167	759	180
9月			
合計		759	1,070



□環境活動の取り組み計画と評価
◎よくできた　〇まぁまぁできた　△あまりできなかった　　×全くできなかった

取り組み計画	実施状況	評価（結果と今後の方向）
電力の削減		目標達成状況　◎
・デマンドコントロールによる節電活動の展開	〇	
・空調機効率維持と異常の早期発見(フロン抑制法)	〇	
・照明の更なるLED化の展開	◎	
・蛍光灯交換時にはLED球にする	◎	

累計は達成。今年の夏は、異常に暑く7～9月に消費電力が増えている。最大デマンドも同時期に集中しているが、前年150.6kWから149.2kWに減少した。平均最大デマンドも125.0kWから120.4kWになった。老朽化した水銀燈4機と蛍光灯4機をLEDに取り替えた。
次年度初期に、老朽化している事務所のエアコンを最新型省エネタイプを設置予定。今季後半には、機械稼働台数も増えている。

燃料　自動車　リフト削減		目標達成状況　〇
・トラックのエアコン管理の継続	〇	
・エコドライブ等運転方法の配慮（急発進・急加速	〇	
や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止等）		
・効率的な配送に向けた検討・特別配送のﾃﾞｰﾀ採取継続	〇	

月別、累計ともに達成。特別配送の回数は、7月　4回、8月　1回、9月　2回であった。
前年度から実施している日常のトラック配送便の減台の効果が出ている。次年度初期には大型受注により特別配送の増便が予定されている。引き続き特別配送の回数を注視する。
次年度目標は、当初の計画通り91%とする。

一般廃棄物の削減		目標達成状況　〇
・ダンボールのリサイクル化の継続	◎	
・事務所廃棄書類・各課の徹底したリサイクル化	〇	
・3R活動の推進（リデュースの徹底）	〇	

3R活動は根付いてきた。5S活動の内容により増減があるが、累積で達成した。
次年度目標は、当初の計画通り65%とする。

産業廃棄物（廃油）の管理		目標達成状況　〇
・廃油・特管廃油・汚泥のマニフェスト管理徹底	〇	
・廃棄物管理手順書の遵守	〇	
・塩素系有機溶剤等の削減、代替物質への転換	◎	

塩素の含有量は規制を超えていない。今後も監視していく。マニフェストの管理を徹底する。

使用水量の削減		目標達成状況　〇
・5S清掃時バケツ利用の習慣化（水の出しっ放しを防ぐ）	〇	
・作業終了時蛇口の閉め忘れ確認を継続	〇	
・節水意識高揚の徹底(各人が現行使用量より節約する)	〇	

前年度実績より若干の増加はあるが、月別、累計ともに達成している。
次年度目標は、当初の計画通り85%とする。

5S活動の普及啓発		目標達成状況　◎
・工場見学受入	◎	
・インターンシップ生受入	◎	

コロナの影響も少なくなり、前年度の3倍強を受け入れた。次年度初期も多数の申し込みが入っており、コロナ前に戻りつつある。
次年度も社会貢献活動として学校関連を積極的に受け入れる。

環境に配慮した製品製造		目標達成状況　〇
・加工ミスによる作業者の教育を強化	〇	
・クレームの低減・撲滅継続	〇	
・化学物質安全性データーシートの活用	〇	

2023年度ISO9001製造プロセス目標で品質保証部にて管理。
次年度目標もISO9001製造プロセス目標とする。

□環境関連法規制等の順守状況
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物　産業廃棄物（廃油・特管廃油）
騒音規制法・振動規制法	条例に基づく届出
自動車リサイクル法	営業用乗用車　トラック　フォークリフト
NOx・PM法	営業者　トラック
グリーン購入法	環境物品
フロン排出抑制法	業務用空調機　スポットクーラー
労働安全衛生法	出光アイソール（石油系炭化水素）
顧客要求事項	化学物質の使用　含有の禁止

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

□外部からの苦情・要請等
ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

二酸化炭素の排出量の削減について、老朽化が前提ではあるが、水銀燈4機と蛍光灯4をLEDに交換した。次年度初期に事務所のエアコンを最新型省エネタイプを設置予定。トラック配送定期便の1台減便を継続おり、今季目標は達成した。
一般廃棄物、使用水量についても達成している。当初の計画通り次年度の目標は全項目を上方設定した。
5S活動の普及啓発についても、下半期はコロナの影響が無くなり学校関連の工場見学を積極的に受け入れており、次年度も継続して行きたい。
環境整備については、昨年度の火災報知器設置に引き続き、次年度もパッケージ型消火栓の設置が決定している。
手順遵守は定着しているが、色々な視点から環境について考えて行きたい。

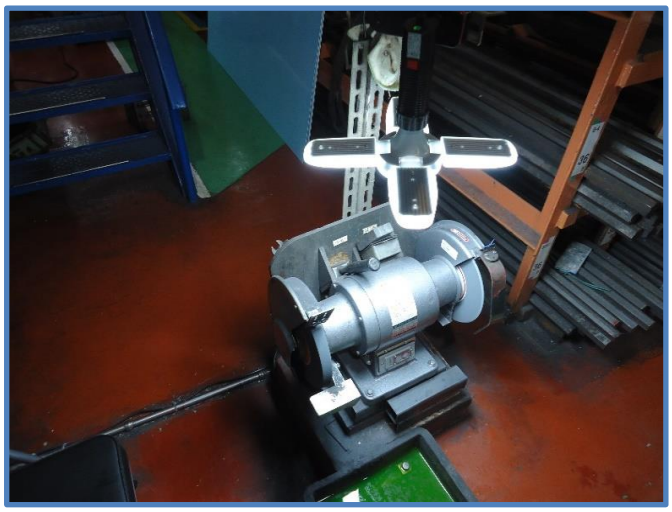
[環境経営方針]	
変更の必要性：	□有　■無
[目標・活動計画]	
変更の必要性：	□有　■無

実施体制	
変更の必要性：	□有　■無

□2023年度　環境活動の紹介

工場内の照明を蛍光灯からLEDに交換しました。（右側）

→



切断課1班のグラインダー場の照明を蛍光灯からLEDに交換しました。

社会貢献の一環として、学生さんやJICA研修員の方に工場見学の機会を
提供しています。